



おかやま環境ネットワーク

NO.77
2014.11

NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

『体験プログラム』開催報告

『海ホテル夜間観察会』

- ◆日時：7月12日（土）18時～23時30分
- ◆場所：倉敷市大浜海岸（鷺羽山下電ホテル前）
- ◆参加：76名
- ◆講師：吉鷹一郎氏（関西高校教諭）他
- ◆内容：海ホテルなど夜の海辺生物観察

講師による現地の自然環境やいきものについての解説があり、その後5班に分かれ、するめなどのえさを入れた瓶のしかけを沈めて採集しました。しかけにはたくさんの海ホテルが入っており、刺激を与えると、青い光が一気に広がり、神秘的な夜の海の不思議を体験しました。

◆参加者感想

- ・予想以上に光が強く、幻想的な体験でした。身近にこんな生き物がいるとは驚きです。この自然を守るために身の回りのできるところから、環境に配慮していきたいです。
- ・今回の観察では砂浜や海中など、いろいろなところでウミホテルが見られたので、こんな近場にも神秘的な景色があることに感動しました。この自然の神秘をこれからも残していってほしいです。
- ・ウミホテルを初めて見ることでよかったです。身近な環境の中にも知らない世界があり、少しでも関心を持って接することの大切さ学びました。このような機会を与えてくださりありがとうございました。
- ・ウミホテルの生態や光る仕組みについて、わかりやすく説明していただきとても勉強になりました。実際に触れられたことは、とても貴重な体験になりました。



採集の様子

『第2回アマモ再生教室』

- ◆日時：8月8日（金）10時～12時
- ◆場所：笠岡市神島・見崎公会堂と近隣海岸
- ◆参加：36名
- ◆講師：森中憲治氏（神島見崎里浜づくり代表）
- ◆内容：アマモ種子採集作業

海岸にて種子を入れておいた袋から大まかにごみ等を洗浄し、公民館に帰って種子とごみを竹製ピンセットにて分別作業をし、約46,000粒が採取できました。



海岸での作業



ピンセットでの分別作業

◆参加者感想

- ・集中して一つ一つの種をより分ける作業が結構楽しかった。豊かな海のことを考えながらの作業、大変だけど意義あることだと思えるのが良い。
 - ・アマモが海にとって大切だということが分かりました。アマモを育てるには人の手が必要だということをたくさんの方が知れば、育てている方の負担が減るので、このことが広がっていくといいと思いました。
 - ・地道な作業でした。一粒一粒が愛おしい感じがして、これから種が育っていくのを見るのが楽しみになりました。
 - ・初めて体験することばかりで、大変勉強になりました。
- ※8月9日開催予定の「高島干潟 いきもの観察会」は台風接近の為、残念ながら中止とさせていただきます。多くのお申込、ありがとうございました。

『市民のための環境講座①』

- ◆テーマ：加速する地球温暖化と人類の未来
～ IPCC 第5次報告書の警告～
- ◆講師：地球環境と大気汚染を考える全国市民
会議（CASA）・専務理事早川光俊氏



早川 光俊 氏

- ◆日時：6月21日（土）10時～12時
- ◆場所：オルガ5階スカーレット、◆参加：24名
- ◆内容：

IPCCの役割の解説から始まり、第1作業部会報告として、気候変動の自然科学的根拠、観測された事実、気候変化の原因、将来予測、4つの温室効果ガスの代表的濃度シナリオ、海水の酸性化、2℃を超えるまで30年足らず等の解説がありました。

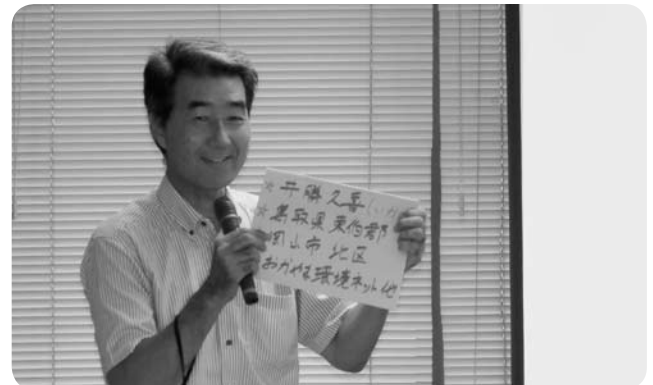
次に第2作業部会の報告として、影響・適応・及び脆弱性、英ガーディアン紙の5つの要点：①食料需給への脅威、②人間安全保障、③不公平、④安全な人などどこにもいない、⑤困難ではあるが望みがないわけではないことや、観測された影響、海洋生態系、食料生産への影響、過去の温暖化による生産性への影響、主要なリスク、包括的な懸念、適応の限界等の解説がありました。

次に第3作業部会の報告として、気候変動の緩和、増加する温室効果ガス、増え続ける温室効果ガス、過去220年と最近40年の累積排出量は同じであること、2020年の部門別排出量、長期的な緩和の経路、総経済コストの推定、大気汚染質に与えるコベネフィット、エネルギーシステムの大規模な改革の必要性、国際協力、緩和努力配分の枠組み、国際交渉の現在、IPCC/AR5と国際交渉等の解説があり、日本の目標・エネルギー基本計画、脱原発と温暖化防止の両立は可能か、「CASA技術対策ケース」の経済波及効果、実質GDPとCO₂排出量（原発再稼働

なしケース）等の解説があり、最後に3つの公平、すなわち同世代に生きる人達との公平＝南北問題、将来世代に生きる人達との公平＝世代間の公平、人間とその他の生物との公平＝生物の多様性の視点を持つことの大切さと、市民こそ環境問題解決の鍵であり、地球規模の環境問題の解決のためには、国益や利害から自由で「地球益」を考えることのできる市民・環境NGOの役割が重要であり、情報に精通し、自立し、行動する市民（環境NGO）の存在なくして、地球規模の環境問題の解決はない、とまとめられました。

『市民のための環境講座②』

- ◆テーマ：環境問題を捉える視点
- ◆講師：吉備国際大学教授・井勝久喜氏



井勝 久喜 氏

- ◆日時：9月6日（土）13時～15時
- ◆場所：オルガ5階スカーレット、◆参加：20名
- ◆内容：

環境問題の解決が難しいのは人により環境問題の捉え方が違っているためであり、環境問題の本質を見据え、本当の豊かさとは何かということについて考えながら、環境問題にどう対処するのか、環境問題の解決策について、参加者全員で議論しました。

はじめに、グループ分けを行い、参加者の同士の自己紹介、最も気になる環境問題についてアイスブレイクを行いました。その後、講師の解説を交えながら、「環境問題の定義ワーク」、「囚人のジレンマ解決策フリップディスカッション」、「なぜ未来世代の権利を守る必要があるのかフリップディスカッション」、「人生満足尺度ワーク」、「環境問題の解決策フリップディスカッション」を行いました。

⇒次ページへ続きます

市民のための環境講座報告

「環境問題の定義ワーク」では、小学生でも理解できる説明を各自で考え、グループディスカッションの後、人の活動と環境影響、地球環境問題のエンドポイント、環境問題のエンドポイント、社会的ジレンマ、共有地の悲劇に関する解説がありました。

「囚人のジレンマ解決策フリップディスカッション」では、囚人のジレンマ、環境問題と社会的ジレンマに関する解説の後、社会的ジレンマはどうすれば解決できるか、人々に協力的行動を取ってもらう方法について各自で考え、グループディスカッションの後、社会的ジレンマの解決策、社会的ジレンマの解決を困難にする要因、環境を捉える視点の社会像・思想的背景について解説がありました。

「なぜ未来世代の権利を守る必要があるのかフリップディスカッション」では、私たちはなぜ未来世代に責任を持たなければならないのかについて各自で考え、グループディスカッションの後、多くの人を説得できる論理が必要であること、世代間の正義、世代間における資源の取り合い、環境問題解決に向けての課題として、価値観（優先順位）が変わらないとライフスタイルは変わらないこと、民主主義は地球環境問題を解決できるか、不可能性定理、グローバル企業と政府、国家とグローバル企業、持続可能な開発、GDPと生活満足度、持続的発展の指標、幸福度の国際比較について解説がありました。

「人生満足尺度ワーク」では、人生満足尺度項目をもとに各自の点数を計算し、グループディスカッションしました。

「環境問題の解決策フリップディスカッション」では、これまで学んだ内容を念頭に置きながら環境問題を解決する方法について各自で考え、グループディスカッションの後、始まっている社会作り（スローシティー、エコビレッジ、トランディション・タウン）、日本の福祉思想、縄文時代から続く日本人の倫理観についての解説がありました。

人類が生きるのにふさわしい未来を作るには、環境被害の脅威に抵抗するだけでは足りず、どのように生きていきたいのかという問いに積極的に答えを出さなければならない、とまとめられました。

体験プログラム開催報告

『旭川まるごと探検隊』

◆日時：8月23日（土）8時～18時

◆参加：51名

◆講師：山口一裕氏（岡山理科大学准教授）
黒田眞路氏（國六株式会社取締役）
吉鷹一郎氏（関西高校教諭）

◆行先：毛無山セラピーロード、女滝、源流の碑・野土路川、道の駅メルヘンの里新庄、鬼の穴・龍宮岩

◆参加者感想

- ・地域の特性を活かして「里づくり」「里山づくり」に活躍している皆様の体験に基づくお話に興味深く感心しました。
- ・天候に恵まれ、とても気持ちよく有意義な一日でした。先生方の熱い気持ちや愛が伝わってきました。自然を守り、積極的に活かしていく活躍に期待します。私たちにもできることがあればしたいと思います。
- ・改めて自然を守る大切さを考えさせられた。自然をよく知ること、そして自然に対して謙虚であること。講師の方々の熱意にも感動いたしました。足元にある宝物に気付くと同時に、大きなスケールにも思いを馳せることができとても充実した一日でした。
- ・盛りだくさんのコースの上、先生方の説明も本当にためになり、楽しかったです。山の作り方、水の大切さ、森林も含め生活、防災、個人で行くのでは知らないでいることをたくさん教えていただきました。
- ・とても充実していて楽しかったです。先生方のお話を聞きながらの観察は、大変わかりやすく、自然をよく理解できました。川に入ったり、植物を触ったり、鳥の声や虫の声を聞いたり、洞窟のにおいを嗅いだりと、普段は感じない五感に心地よいものに触れられて、とても気持ち良かったです。



『子孫に託す豊かな児島湾・旭川を再生のロードマップ』

～市民参加型自然調査のみんなで作りたい～

旭川源流大学実行委員会

当実行委員会は2010年に発足して以来、岡山で大型動物から小型の水生昆虫まで自然観察や調査研究を市民・学生の皆さんたちと一緒に行って感動を共有してきました。若い人たちに日本の自然の楽しみ方を知ってもらうことも大切な目的です。活動地域は旭川の流域を中心に源流部と中流部では水生生物（昆虫・ベントス・魚類及びサンショウウオ類）を、下流部では大量に一斉羽化するオオシロカゲロウと世界的に珍しい完全陸生のヤマトビロビケラ、沿岸部では主に発光する海棲プランクトンのウミホタルの生態調査を大学研究者・学生の皆さんと行いました。特に、児島湾高島干潟の調査では2009年3月の高島干潟シンポジウム以来多くの研究知見が積み重なってきています。



13年5月6日開催高島干潟観察会

この夏には有明海特産とされていた大陸と地続きだった頃の東シナ湾時代の遺存種“シカメガキ”（海外では高級種のカキ）が県内高校生物部（関西高校・芳泉高校・瀬戸高校）などの合同調査から見つかっています。

現在児島湾ではカブトガニや鎮台貝（アゲマキ）・赤貝（ハイガイ）・蛤は見られなくなっていますが、かつての宝の海と呼ばれた「吉備の穴海」の片鱗があります。県外の研究者（水生昆虫で龍谷大学・信州大学・同志社大学、魚類で東京大学、貝類で広島大学など）も旭川の生き物調査に向き旭川の生物相に今関心が集まっています。



朝鍋鷲ヶ山ブナ林

さて、日本生態学会が「市民参加型の生態系モニタリング調査百年プラン」を提言していますし、今年4月には議員立法で「水環境基本法」制定され「健全な水循環」という概念が初めてとり入れられました。情勢は動き始めて

います。国民の共通の財産である「いのちの水」（源流の森から川・地下水を巡って海まで）を今一度見直したい方は多いと思います。年配の方からは、児島湖堤防が閉め切られて来年で60年の今、旭川や児島湾の生き物たちはどのように生きてきたのか、今後の自然再生は可能だろうかとのご意見も頂きます。

我々の経済活動によって旭川源流部には産廃施設が押し寄せ、ダムや堰によって「命の道」を断たれている「みんなの旭川・児島湾」を誇り高い豊かなふるさとに戻すにはどうすればよいか。何を間違えていたのか。熟考し次の50年後に子孫たちに託したい豊かな児島湾・旭川を再生実現するための市民提案型ロードマップを作成して世論に供したいと考えています。このための準備として、実行委員会では今後作成に向けて「干潟・汽水域予備調査」を開始予定です。まだ手遅れではないのです。皆さんのお知恵を出し合うことが大切なのだと思います。ご協力をお願いします。

感動のふるさと再発見！ 旭川まるごと探検隊

毛無山、新庄川

宇甘川

白賀渓谷

源流の王者オオサンショウウオ

高島干潟

傷ついていた天然記念物

干潟の生態系の主役アナジャコ

旭川本流

公益財団法人おかやま環境ネットワーク2014年度第9回体験プログラム(岡山つながる・ひろがるESD事業)



『旭川かいぼり調査』

岡山市北区建部町竹枝、旭川本流河川敷と中洲の間を一時的にせき止めて、生き物調査を行う「竹枝かいぼり調査」に、おかやま環境ネットワークも参加し川の生物や環境を身近に体験します！
この調査は建部の竹枝小学校横の旭川河川敷で行われ、旭川の生き物を調査し、生物多様性保全や自然再生につなげようと、「竹枝学区ふるさと活性化協議会」が中心となって地元の方々等からなる実行委員会が開催しています。ぜひご参加ください！！

参加者募集

お申し込みいただいた方には、別途詳細案内を郵送します。

- ◆日時：11月8日(土) 8時30分～15時解散予定
- ◆場所：竹枝小学校横の旭川河川敷
- ◆内容：いきもの調査
- ◆対象：小学3年生以上の方、小中学生は保護者同伴、大人のみ参加は可
- ◆定員：40名(応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先。参加可否は郵送にてご連絡します。)
※全員バスで移動します。
- ◆参加費：1人500円(年齢関係無)、おかやま環境ネットワーク個人会員とその同居家族は無料、年会費2,000円
※昼食持参
- ◆申込：10月29日(水)までに下記参加申込書を郵送、ファックス、メールのいずれかでお申込ください。申込後のキャンセルはご遠慮ください。
- ◆主催：竹枝学区ふるさと活性化協議会
他の多くの団体



◆スケジュール予定

※詳細スケジュールは別途参加予定者にご案内します。交通事情等により時間は前後しますので、予めご了承ください

- オルガ集合 8:15～オルガ前で受付
⇒岡山市北区奉還町1-7-7、岡山駅西口から北へ徒歩約5分
- ・ 8:30 オルガ前出発
- ・ 9:30 竹枝小学校横の旭川河川敷
- ・ 14:00 現地出発
- ・ 15:00 オルガ着予定・解散

※参加者には1部、これまでの調査結果をまとめたパンフレットを進呈します。

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 (オルガ6階)

Tel・Fax: 086-256-2565 E-mail: kankyonet@okayama.coop

※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などには行いません。



..... 切り取り線

『旭川かいぼり調査』 参加申込書

代表者	フリガナ氏名	年齢	歳	電話番号		
	おかやま環境ネットワークの個人会員ですか				はい・いいえ	
	住所	(〒 -)				
	フリガナ氏名	年齢	歳	フリガナ氏名	年齢	歳
	フリガナ氏名	年齢	歳	フリガナ氏名	年齢	歳



ほたるの乱舞をめざして

第12回おかやまホタルフォーラム

「生物や自然環境保全のあり方、生物と人間生活との関係」の講演と、県内でホタルの保護、復活、再生をめざし活動している団体の報告や、倉敷市「生物多様性地域戦略」の制定に関する情報提供をとおし、自然環境保全活動の交流をすすめます。

地元「酒津のホタルを親しむ会」が保全に取り組む現地視察も行ないます。

ホタルに関心のある方どなたでも参加できるフォーラムです。是非ご参加ください。

- ◆日時：12月6日(土) 10時30分～12時30分(現地見学：13時30分～現地解散)
- ◆会場：倉敷イオンショッピングセンター(倉敷市水江)内2階イオンホール 現地見学：酒津公園
- ◆内容(予定)

- 開会挨拶：倉敷市長(依頼中)、(公財)おかやま環境ネットワーク代表理事・青山勲
- 基調講演：伊藤國彦氏(岡山県立大学名誉教授)生物や自然環境保全のあり方、生物と人間生活との関係等の講演をとおし、自然環境保全に関する理解をすすめます。
- 報告：酒津のホタルを親しむ会・武内立爾氏「これまでの取組紹介と歌の紹介(仮)」
- 報告：倉敷市「倉敷市生物多様性地域戦略について(仮)」
- 質疑応答：コーディネーター：(公財)おかやま環境ネットワーク代表理事・青山勲
- ・その他 会場内で各団体活動紹介パネル展示等

⇒故・梶田博司氏(元川崎医療福祉大学教授・おかやま環境ネットワーク理事、「ホタルと人と文化」著者)所有の写真展、資料等の展示も行いますので、是非ご覧ください。

※希望者のみ 13時30分～現地見学：酒津公園視察(現地解散)

※昼食は各自でお摂りください。

- ◆参加費：無料
 - ◆定員：200名(定数を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。)
 - ◆申込：11月21日(金)までに、FAX・メール・郵送等で下記「参加申込書」を送付ください。
 - ◆主催：倉敷市、酒津のホタルを親しむ会、みらい公園にホタルを憩う会、蔵おこし湧々
公益財団法人おかやま環境ネットワーク、生活協同組合おかやまコープ倉敷エリア
- ※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などは行いません。



撮影：梶田博司氏



公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)
Tel・Fax：086-256-2565
E-mail：kankyounet@okayama.coop
HP：http://www.okayama.coop/kankyounet/

..... 切り取り線

第12回おかやまホタルフォーラム参加申込書

代表者	フリガナ 氏名			
	E-mail			
	電話		FAX	
	住所	〒		
団体名				
参加者	フリガナ 氏名		フリガナ 氏名	

地域を語り、未来を拓く！

第六回おかやま環境シンポジウム

☆おかやま環境シンポジウム☆

地域の環境・産業の現状を語り合い、今後の地域づくりの手がかりを探ります

岡山県内の環境活動のネットワークを促進させるため、市民、団体、事業者、研究者、行政等が集い、情報交換、交流を図ります。

私たちは干潟から豊かな水産資源の恩恵を享受し、身近な里海としてふれあい、様々に利用してきました。一方で、干拓や埋め立てが盛んに行われ、それは人間生活の持続性を壊すことにつながります。

今回は、「干潟の自然環境」をテーマに、干潟の役割や機能、その重要性、保全等について考えます。



- 日時：2015年1月31日（土）10時～12時30分（9時30分開場）
 - 会場：オルガ5階スカレット（岡山市北区奉還町1-7-7）
 - 内容（予定）：一部変更となる場合もありますので、予めご了承ください。
 - ◇基調報告：『干潟の役割と機能』里海づくり研究会議事務局長・田中文裕氏
 - ◇事例報告：『乙子湿地の活動から見えて来た児島湾干潟の400年～岡山市立太伯小学校5年生の2014年の授業より～』旧児島湾研究会・森千恵氏
 - ◇事例報告：『高島干潟における調査活動のとりくみとその意義』岡山理科大学理学部准教授・齋藤達昭氏
 - ◇事例報告：『高梁川河口干潟と笠岡湾干潟での取り組み』井原市立高校教諭・坂本明弘氏
 - ◇参加者との意見交換
コーディネーター：白井浩子氏・元岡山大学准教授・（公財）おかやま環境ネットワーク理事
 - 参加費：無料
 - 定員：50名、定員になり次第締め切ります
 - 申込：FAX・メール・郵送等で下記「参加申込書」を送付ください
 - 主催：公益財団法人おかやま環境ネットワーク・自然環境部会
協力：旭川源流大学実行委員会
- ※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などはありません



公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7（オルガ6階）
Tel・Fax：086-256-2565
E-mail：kankyounet@okayama.coop
HP：http://www.okayama.coop/kankyounet/

..... 切り取り線

第六回おかやま環境シンポジウム 参加申込書

フリガナ 氏名		電話 番号	
住所	〒		
E-mail		所属	

『市民のための環境講座』 ご案内

- ◆会場：オルガ5階
- ◆受講料：無料
- ◆申込：必ず事前に参加希望日、氏名、電話、住所をご連絡ください。定数(40名)を超過し参加いただけない場合の連絡します。
- ◆各回の日時・テーマ・講師
 - ・第4回 12/13(土) 13時～15時
『こんなに捨てられている!食べられる食品』
講師：糸山智栄
(フードバンク岡山理事長)
 - ・第5回 1/10(土) 10時～12時
『岡山県の気候変動について』
講師：岡山地方気象台職員
 - ・第6回 1/24(土) 10時～12時
『PM2.5について～国境を越える汚染物質～酸性雨、光化学スモッグ、黄砂～』
講師：野上祐作氏
(岡山理科大学特任教授)
 - ・第7回 2/14(土) 13時～15時
『人間活動が地球に与える影響～環境問題の根本を考える～』
講師：白井浩子氏
(元岡山大学准教授)
 - ・第8回 2/28(土) 10時～12時
『放射能は人の健康や環境にどのような影響を及ぼすのか～原子力発電と放射能問題、その後の福島・今後の福島～』
講師：青山勲氏
(岡山大学名誉教授)

旭川かいぼり調査 パンフレット同封について

11月9日開催の『旭川かいぼり調査』用のパンフレットができましたので、会員の皆様に同封しています。

ご査収ください。



ニュースへのチラシ等の 同封に関するお知らせ

おかやま環境ネットワークで年4回
おかやま環境ネットワークで年4回(5・7・11・3月発行予定)会員の皆様にニュースを発送していますが、会員団体の各種イベントのチラシ等を同封することができます。

同封希望がありましたら、発行前月の第2週末までに事務局へご連絡ください。

※メールニュースは毎月第2・4水曜日を基本に発行しています。メールニュースへ掲載希望がありましたら、毎月第2・4月曜日までに原稿を事務局に送信ください。

体験プログラム「アマモ再生 教室」のご案内

- ◆日時：1月23日(金) 6～9時
- ◆場所：見崎公会堂
- ◆内容：アマモ苗の定植作業
- ◆講師：森中憲次氏(神島見崎里浜づくり代表)
- ◆申込：1月9日(金)までに、氏名、年齢、電話、住所をご連絡ください。
- ※詳しいご案内を郵送します。
- ◆定数：30名

環境家計簿カレンダー 同封について

おかやま環境ネットワークと岡山市とが協働ですすめています「環境家計簿」に関する啓発資料として『環境家計簿カレンダー』ができましたので、会員とモニターの皆様に同封しています。

ご査収ください。



2015 環境家計簿カレンダー

メールニュース会員 募集中

おかやま環境ネットワークの情報や、会員団体のイベント情報等を掲載しています。配信希望の方はメールにて、件名：『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前(必須)、所属団体・会社名(任意)を送信してください。

現在1,480名にご登録いただいています。

会員 募集中

おかやま環境ネットワークは、皆様からの会費、寄附、ボランティア活動で支えられています。ぜひ会員となり、活動をご支援ください。

【年会費】

- 個人・団体：2,000円
- 企業等：20,000円
- 学生：無料(大学生、大学院生、高校生、就職時は対象外)

器材貸し出しについて

プロジェクター・スクリーンを会員の皆様に無料でお貸ししています。詳しくはホームページ「入会案内」のページの下部をご覧ください。

.....
 ・ 2014年度会費をまだ納付していない会員の皆様に振込用紙を同封しておりますので、お振り込みくださいますよう、お願いいたします(入れ違いでお振り込みいただいておりますらご容赦ください)。
 ・ 会費は、企業・協同組合：1口2万円、団体・NPO法人・個人：1口2千円、1口以上をお願いいたします。

発行：公益財団法人おかやま 環境ネットワーク

〒700-0026
 岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)
 TEL/FAX 086-256-2565

E-mail:kankyounet@okayama.coop
 HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/